

## 令和元年度 第1回 旭区区政会議（活力・安全部会） 会議録

### 1 開催日時

令和元年7月29日（月） 午後7時から午後8時30分

### 2 開催場所

旭区役所 3階第2・3会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

弾 議長、坂井 副議長、天野 委員、石中 委員、亀井 委員、蒲 委員、川井 委員、阪本 委員、疋田 委員

#### (2) 旭区役所

花田 区長、土居 副区長、長谷村 企画総務課長、松原 企画調整担当課長、柴川 まち魅力担当課長、前田 市民協働課長、山本 防災安全担当課長 他

### 4 次第

#### (1) 開会

(2) 令和2年度 旭区運営方針策定及び予算編成に向けた意見・提案について

(3) 平成31年度 旭区運営方針の指標の見直しについて

(4) 旭区区政会議に関するアンケートについて

### 5 議事内容

○長谷村 企画総務課長

それでは、時間が過ぎております。ただ今から令和元年度第1回旭区区政会議（活力・安全部会）を開会致します。

本日は、ご多忙の中、皆さまご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます企画総務課長の長谷村です。どうぞよろしくお願い致します。

最初に資料の確認ですが、本日使用する資料と致しまして、事前にお送りしております資料1、旭区将来ビジョン2022 概要版、資料2、平成31年度旭区運営方針（概要版）、それと、本日皆さまのお手元に配布致しました令和元年度第1回旭区区政会議（活力・安全部会）開催次第、資料3、令和2年度運営方針策定及び予算編成に向けた意見票、資料4、平成31年度旭区運営方針（概要版・抜粋）、資料5、旭区区政会議に関するアンケートについて（依頼）、当日机上配布資料①と致しまして、「H30 第3回活力安全部会」「R1 第1回全体会議」における追加意見等への対応方針、机上配布資料②としまして、令和元年度

第1回旭区区政会議（活力・安全部会）追加意見・提案メモ、それから、当日机上配布資料③としまして、平成30年度旭区民アンケート結果（抜粋）で、当日机上配布資料④、平成30年度学習会視察報告書でございます。

たくさん申し上げましたけれども、不足等しておりますものがございましたならば、挙手にてお知らせいただけないでしょうか。いかがでしょうか。

ありがとうございます。

ご案内のとおり、当会議は原則公開とさせていただきますので、本日は一般傍聴の方、お見えになっておられます。傍聴の方は、入り口で提示致しました傍聴要領に従っていただき、会議の運営にご協力いただきますようお願い致します。

本日の委員の皆さまの発言内容については、毎度毎度申し上げて恐縮ですけれども、発言者氏名も含めて区役所で会議資料とともに閲覧できるようにさせていただき、区役所のホームページにおいても公表してまいりますので、よろしくお願い致します。このため、本日の会議は録音させていただいております。

なお、ご発言の際は、お名前をおっしゃってからご発言をお願いしたいと思います。

それでは、開会に当たりまして、旭区長の花田よりごあいさつ申し上げます。

○花田 区長

皆さん、こんばんは。

○全員

こんばんは。

○花田 区長

いつもお忙しいところ、大変ありがとうございます。

本日なんですけれども、次第にも書いてございますとおり、来年度の運営方針でありますとか、予算編成に向けてのご意見、ご提案を頂くという場になっております。また、先日ちょっとご報告を申し上げました、30年度、昨年度の指標の結果等を見ていただいた上で、今回、3カ年度の分をやりとりしているんですけれども、今年度の分の指標の見直しというものをさせていただきたいと思ひまして、それにつきましても本日の議題に入れさせていただきますところでございます。

なお、先日の全体会議のときに、1つは区民アンケートというものにどんな聞き方をしているんだというお話がありましたので、本日、カラー刷りのものはそれでございますので、ご参照をお願いします。

また、前回、石中委員から頂いておりました質問についてお答えができておりませんが、ちょっと今回、それを対応方針として文書化したものにつきまして、全体会議からの積み残しということでご準備をさせていただいております。簡単に申

申し上げますと、石中委員へのご回答というのは、ご提案の件についてはいろいろと調整先があるんですけども、今年度からできるように、ちょっと調整に入りますよというお答えになってございますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

それでは、本日もどうぞよろしくお願い致します。

○長谷村 企画総務課長

ありがとうございました。

それでは、ここで委員の皆さま方の出欠のご報告をさせていただきます。本日の——大変失礼致しました。部会長からのごあいさつが落ちてしまいました。大変申し訳ございません。それでは、弾部会長からごあいさつをお願い致します。

○弾 議長

こんばんは。

○全員

こんばんは。

○弾 議長

非常にお暑い中、ご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

今回をもちまして30年度の部会、最終回になるかと思えます。来る9月より新しい委員さんも交えた、また新しいメンバーで、この部会並びに区政会議が行われると聞いております。恐らくこの中の方でも、本日が最後の委員会出席になる方も何人かおられるかと思えますので、今まで忌憚のない意見を述べていただいたと思えますけども、より一層、もう最後のチャンスだと思っていただきまして、大いに意見を述べていただけたら助かります。

では、よろしくお願い致します。

○長谷村 企画総務課長

大変失礼しました。ありがとうございました。

それでは、委員の皆さま方の出欠のご報告ということで、ご欠席の委員の皆さま方のお名前をご紹介します。梅原委員、浦西委員、大城委員、北村委員、それから中西委員、三木委員、宮川委員ということで、本日、浦西委員につきましてはご出席いただけると伺っておりますので、遅れてお見えになるのかと思えますけれども、現時点で9名の方がご出席ということでございます。本日の出席者は2分の1以上の委員のご出席をいただいておりますので、本部会が成立しておりますことをご報告致します。

それでは、議題に入ってまいりたいと思えます。以降の議事進行は弾議長にお願い致し

ます。どうぞよろしくお願い致します。

○弾 議長

はい。それでは始めさせていただきたいと思います。

ちょっと一言、議案、議題に入る前に、机上にございます資料の中に鎌田委員さんからの追加意見がございました。この意見につきましてご質問があれば、後ほどお伺いさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。資料1の裏面ですね。2ページ、鎌田委員さんの意見が記載されておりますので、後ほどよろしくお願い致します。

それでは、始めさせていただきたいと思いますが、よろしくお願い致します。

(1) 番、令和2年度の旭区運営方針の策定及び予算編成に向けた意見・提案についての事務局よりの説明から始めさせていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

○松原 企画調整担当課長

皆さま、こんばんは。企画調整担当課長の松原でございます。どうぞよろしくお願い致します。

座って説明させていただきます。

それでは、説明差し上げます。資料の1、旭区将来ビジョン 2022 概要版でございます。何回もご説明差し上げているものですが、復習ということで、この「安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区」を目指しまして、区役所としても運営を進めているところでございます。

この活力・安全部会につきましては、4つの項目のうちⅢ「活力あるまち」、それからⅣ「安全に暮らせるまち」というのが担当ということで、本日も、この活力あるまちの1、コミュニティ活性化のための取組、2、まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開、安全に暮らせるまちの1、防災体制の充実、2、防犯啓発の取組、この点に絞って、できるだけのご議論をいただきたいというふうに考えているところでございます。よろしくお願い致します。

資料の2、平成31年度（令和元年度）旭区運営方針（概要版）でございます。これは、前回の全体会議では30年度の振り返りということでございましたが、この旭区将来ビジョン2022の各年の取り組み点ということで、30年度の内容からあまり変わっていないというものでございますが、現在、この31年度の運営方針に沿って区政を進めているところでございます。

ページで申し上げますと13ページ、14ページ、経営課題3、コミュニティ活性化とまちの魅力の創出から以降、経営課題4、地域防災力・地域防犯力の強化というところが、この活力・安全部会のテーマでございます。

簡単に申し上げます。13ページ、戦略3-1、コミュニティ活性化の取組ということで、今年度具体的取り組みということで、①地域社会の活力向上支援、②コミュニティの活性

化、③文化芸術によるコミュニティ育成、④生涯学習の推進に取り組んでおります。

次のページ、15 ページにまいりまして、戦略3-2、まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開として、具体的取り組み、①旭区魅力の創出と発信、②城北公園の魅力向上、③商店街の魅力向上に取り組んでおります。

17 ページ、経営課題4、地域防災力・地域防犯力の強化、戦略4-1、「ご近所」精神による防災体制の充実として、①地域防災意識の向上、②地域防災力の底上げに取り組んでおります。

19 ページにまいります。同じく経営課題4、地域防災力・地域防犯力の強化の中で、戦略4-2、地域防犯力の強化としまして、①防犯対策の強化、それから②交通安全・自転車のマナーアップおよび放置自転車対策に具体的に取り組んでいるところでございます。

本日ににつきましては、今、現状このような取り組みをしているということを踏まえまして、来年度、これから予算編成、取り組みの編成ということになりますので、これらの現状を踏まえて、こうしたらいいのではないかとか、こういう取り組みがもっと、もしくはスクラップも含めてですけれども、ご意見を頂き、こちらのこれからの予算編成、取り組み編成の参考にさせていただきたいというふうに考えております。

資料の3と致しまして、机上の配布になりますけれども、令和2年度運営方針策定及び予算編成に向けた意見票（集約）ということで、活力・安全部会分につきましては表としてまとめさせていただいております。

以前、原本を頂いたものから経営課題ごとに分類を致しまして、それから、若干内容に個人情報を含むものもありましたので、それを整理させていただいたものを表として取りまとめさせていただいております。後で意見を含めてご説明させていただきたいと思っております。

説明は以上でございます。よろしくお願い致します。

#### ○弾 議長

はい、ありがとうございます。皆さんから貴重な、これからご意見を頂きたいわけなんですけれども、いろんな団体さんからご推薦を受けて出てはる委員の方は、団体の代表としてのご意見を中心に承りたいと思っております。また、公募委員の方は、行政や地域とは異なった視点でのご提案、ご意見を頂けたらと思っております。

先ほど、今説明ありましたように、事前に川井委員、石中委員、岸本委員、阪本委員、そして私の方から意見をさせていただきまして、この資料3に集約しております。では、本日は川井委員のご説明からとさせていただきたいと思っておりますけど、川井委員さん、よろしいでしょうか。

#### ○川井 委員

はい。それでは、川井です。今、弾議長の方から言っていただきましたので、資料3の、

この経営課題3、これからでいいですか。

○弾 議長

はい、どうぞ。

○川井 委員

コミュニティ活性化とまちの魅力の創出ということで、上に書いているのが、ちょっと読まさせていただきますと、コミュニティの活性化につきましては、私の住んでいる町会、単体の町会ですが、今年4月から「ふれあいサロン」というのを立ち上げました。各連合町会で、ふれあい喫茶というのがやっているのを前から聞いておったんですけども、中宮では会場に近い3～4町会の人ばかりが参加して、遠い町会からは行けないということで、私ところの町会からははるかに離れてますので、誰も行ってない状態だったんです。それで、「ふれあいサロン」という形で、連合でやってる、いわば小さい版になるんですけども立ち上げまして、何をやってるかいいますと、コーヒー飲むことももちろんなんですけども、懐かしのレコード、あるいはクラシックを聴いたり、落語を聴いたり、百歳体操をしたり、囲碁・将棋をしたり、コミュニケーションマージャンをしたりしております。しかし、4カ月たつんですけども、参加する人はやっぱり固定してきております。これからいかにそれを増やしていくかというのが、われわれの課題やなというふうに思っております。

連合のふれあい喫茶というのが、他の連合ではどのようにされているのか分かりませんが、中宮の場合は女性部が月に1回と、民生が月に1回、同じ会場で行っておりますので、その会場に近い人ばかりしか行けないということで、周りの人が何ら恩恵にあずかれないというようなことになってまして、ぜひ場所があるところでは、小さいながらもあちこちで立ち上げてやったらどうかというふうに思っております。

以上です。

○弾 議長

ありがとうございます。

その次のテーマですね。裏面にもございますように、地域防災の方にもご意見頂いておるんですけども、この辺りはどうでしょうか。

○川井 委員

それでは、すみません。経営課題4、地域防災力・地域防犯力の強化のところでの意見なんですけども、また読ませていただきますと、地震は、今の科学技術では予想不可能な部分があると思われ、もし発災すれば諦めもつくが、大雨による河川の氾濫は避難可能な時間に、ある程度の予測がつくと思われる。地球温暖化がますます進む中、大雨による危険も増加するであります。旭区の地域防災マップでは、水害時避難ビルは市営住宅の

建物だけになっています。旭区の人口は10万人はおられないと思うんですけど、9万人は超えていると思いますが、仮に半数の人が旭区にいるときに淀川が氾濫危険水位になれば、4万5,000人ぐらいの避難場所が必要になります。高層ビルが少ない中、ぜひ常翔学園と交渉していただき、緊急避難場所にすべきであろうというふうに思っております。

避難の勧告・指示の面からは、今のに関連することですけども、避難の勧告・指示の面からは、常翔学園さんは非常に12～13階でしたか、もうちょっとだった。

○弾 議長 18階くらい。

○川井 委員

18階もありましたか。あの高い建物が淀川の堤防の横にありますから、淀川の水位の監視カメラを、どこの場所が一番適当か分かりませんが付けていただければ、非常に把握が的確になり、旭区だけでなく大阪市の多くの区にとっての予報に役立つと思います。淀川河川カメラのインターネットで見ましても、枚方と大阪市の福島区の方にありますが、どちらも非常に見ても見づらい位置であります。枚方に、確か水防団の事務所の方から写してますから、非常に低いところから写してますから見にくいだろうと思います。距離も、ちょうど旭区が中間点に近いですから、高所から淀川を見下ろす角度になりますので、映像を見ていただければ、皆危険状態が分かりやすくなると思いますので、これを旭区にお願いするのがいいのか、大阪市に言うべきことなのかちょっと分かりませんが、そういう水位の監視カメラを付けていただけたらというふうに思っております。

○弾 議長

ありがとうございます。かなり具体的な提案も入っております。これに対しまして事務局の方は、お答えできる範囲で結構ですけども、どんなものでしょうか。

○前田 市民協働課長

市民協働課長の前田と申します。

川井委員の一番最初の、資料の3の一番上の方ですね。コミュニティの活性化につきましての現状・課題を頂いておるところでございます。

確かに川井委員のおっしゃるとおり、どうしても「ふれあいサロン」的なものは近くの方しか参加していないというのが現状でございます。

他の地域の事例で申しますと、同じ開催場所で遠くからも来ていただくというのは難しいことから、小さくても別の場所で新たに開催するなどの工夫をされています。同じ場所での開催は、内容等工夫されても難しいと感じておるところでございます。

○花田 区長

委員長、すいません。今日はやりとりというよりはご提案を頂くので、この件について皆さんがどうお考えになって、それはご提案として、この部会でまとめていただけるかどうかというところでお願いしたいんですが。

○弾 議長

ああ、そうですか。了解しました。はい。

今、区長からお話ありましたように、皆さんのご意見の方を重視したいというふうなことです。特に、まずコミュニティにつきまして、皆さん、ご意見多々あるかと思えます。それでは、本日ちょっと参加者が少ないんで、ちょっと一人一人に聞いてもうても多分時間的にはできると思うんで、まず阪本委員さん、どんなもんですかね、コミュニティにつきまして。

○阪本 委員

突然の指名で意見まとまってないんです。具体的には、母を先々月亡くしまして、亡くなるまでに自分の足で歩ける状態が2年前ぐらいからですかね、ありまして、たまたま独居でありまして、近隣の隣接された方が、仏壇の件も個人的なことでありましたので、お隣の方に、まあボランティアで紹介を、お歩きになってるときに声掛けしまして「ああ、そうですか」というようなことだったんで、申し上げたいことは、やはり地域をくまなくお歩きになって、独居の方を中心に、非常にきめ細かく、元気なのか、家の中はどうなってるのかという、プライバシーのこともありますけど、非常に助かったというような経験がありますし、川井委員おっしゃいますように、なかなか高齢になりましたら行動できる範囲が、母を見てますので、限られる中で、「やっぱりちょっと歩かなあかん」と言いながら限界はありますし、途中で路上で人に助けられたことが三度、四度ありますので、地域の人に、どういうんですか、非常に助け合う互助精神ですか、そういうものも強く感じているということで、とりとめのないことなんですけども、すぐるところ、頼るところということで。

○弾 議長

はい。突然のご指名で申し訳ございません。すみません。

○阪本 委員

あとは、最近では、私、太子橋なんですけれども、アンケートで70歳以上の方の暮らしぶりというか、そういうものがアンケートで回答するよというということでもありました。

以上です。

○弾 議長

はい、ありがとうございます。非常に難しい問題を含んでおるのですが、そういうコミュニティを活性化するという意味合いで、皆さん非常に苦労なさっているというのが現実でございます。その中で、川井委員のおっしゃいましたように、年々参加者が固定はしておるけど、増えることはないという、現状で悩みがあるというふうな提案がございます。それも含めまして、坂井さん、どうですかね。何かこうコミュニティを活性化する意味において、何かご意見ありましたら、ひとつお願いしたいんでございますけども。

○坂井 副議長

はい、公募委員の坂井でございます。

今、川井委員がおっしゃられたご意見は、多分10校下全部が同じような悩みを抱えているんじゃないかなというふうに感じております。私は高殿なんですけれども、やっぱりふれあい喫茶は平日の木曜日、月2回されてるんですけども、平日の昼間、午前中にいらっしゃられる方は高齢者だけで限られてしまって、なおかつ高殿も1丁目から7丁目まで広くて、大きな道を渡ってまでは老人憩の家までは来れないという方のご意見、すごく多くって、結局近隣の方に固定化されてしまう状態にはなっております。

なんで、開催曜日とか開催場所が限られるとそういうふうになるんで、ちょっと2～3年ほど前から、高殿の地活協では、微々たるものなんですけども、巡回喫茶ということで、どこかをお借りして喫茶の開催を、言っても年に2回ぐらいしかできないんですけども、比較的遠い1丁目とか2丁目の方の場所を探して開催すると。しかも平日の昼間だと、またいらっしゃるのはお年寄りの方だけなんで、土曜日とか日曜日で、年齢に関係なく子どもからお年寄りまで皆さんが参加していただけるように開催しようということではしておりますが、一つ、一番の根本的な問題として、どれをするにも地域の担い手が少ないということで、やればいいのかも分かってるんですけども、動く顔触れがいつも同じで、同じ人にばかり負担が行くんで、何かその辺がもっといっぱい動いていただける人材がいらっしゃったら、もっともっと頻繁にも開催できるし、できるのになとは感じるんですけども、多分これは高殿だけじゃなく、10校下みんな、どれも同じ問題だとは感じるんですけども、固定化するのには、もう場所が同じだと、ある程度もう必然的にしょうがないのかなということで、高殿では、それでもいつも憩の家が満杯になるほどは集ってらっしゃるので、それはそれでいいのかかと。逆にキャパを超えてしまうと、今度安全性の問題が出てくるので、また別の問題が発生するんですけども、あとは地域努力として巡回、いろんなところの場所を探して、歩いて来れない方の近辺にまで移動喫茶みたいなものができたらなというのは、地活協の中では話が出ております。

以上です。

○弾 議長

はい、ありがとうございます。

まあ、本当にそれぞれ皆さんご苦労なさって、なかなかこれだという解決法は今のところ見いだせないんですけれども、ちょっとこれ、私ごとで、私もちょっと意見書かせていただいています。まあ、夢みたいな話かもしれないんですけれども、いわゆる人口構成そのものが少子高齢化ですので若い方が少ない、高齢者が多いと。この現実をどうしても見た上での話になってくるかと思います。

当然コミュニティを形成するのが年配の高齢者が中心になってくるわけなんですけれども、そういう中で若い方をいかに旭区に、魅力ある旭区に取り寄せるか、住んでいただくかというのが大きなキーワードになるんじゃないかと思います。特に最近は空き家が非常に目立っております。私の周辺でも何軒か空き家がございます。まあ、予算もありますんで、なかなかすぐにはできませんけれども、限られた予算の中で配分を若干ちょっと考えていただいて、その空き家対策兼ねて、その空き家に若い世代を誘致しまして、低家賃、もしくは無償。「そのかわり、あなた方、旭区のために、地域のために頑張ってくださいよ」という縛りを付けまして、何年間の間、この条件で住んでいただけませんかというふうな、よくテレビで最近そういう番組を見掛けます。当然旭区もできないことはないと思います。要は、あとは予算配分、権利関係も出てくるかもしれないかもしれませんけれども、一つ今までないことをやっていただいて、若い世代を旭区に1組でも2組でも呼んでいただいて、住んでいただいて、次の世代につなぐような形にできないかなというふうなご提案をさせていただいております。

私千林商店街、統括として預らせていただいて、次の方にバトンタッチさせていただきました。幸い商店街では、私よりも1世代違う若い方が住んでおられまして、その方々が次につなげていただけるであろうということで快くバトンタッチさせていただきました。ただ、やってくださいよと言うわけにはいきません。それまでに、やはり何年もかかって彼らが意識付けるように持っていきました。まあ、そういうつもりで、頭とっている人は次の方につなげられるような施策をしながらやっていただけたら、何人かはこっち向いてくださる方が出てくると思います。まあ、理想かもしれないんですけれども、地域で非常に困っておられる方、皆さんがそうだと思います。若い世代、次の世代につながるような働き、貢献をしていただきましたら、旭区はまだまだ魅力ある町になるんじゃないかなと思います。えらいすんません、勝手なことを言いまして。

それでは、それ以外にもご意見頂きたいんですけれども、特に防災につきまして、石中さん、非常に見識があるご意見をお持ちなんで、これにつきまして、この提出していただいた資料を基に、ちょっとお話ししていただいてもよろしいでしょうか。

○石中 委員

はい。公募委員の石中です。

ちょっと今のコミュニティの話で、確かに覚えていたのは、以前、旭区の区民ホールで、確か桂文枝さんが来て、いろんなお話をやっていたね、あれ。参直祭とかでやっては

ったと思うんですけど、あのときの写真で、彼が若い頃、老人ホームだとか、そういうところに行って落語をやったりとかしていたと思うんですけど、例えばふれあい喫茶と、例えばたまに若い落語家の人を呼んで一緒にやるだとか、ちょっと新しいことをやってみるというのも一つの方法なのかなと。もちろんお金もかかるから何とも言えないんですが、同じように喫茶店だけじゃなくて、ちょっとずつ違うものも入れていくと、参加者も増えるのかなというふうな気はします。

あと、防災関係なんですけど、大まかに言うと、やっぱりどうしても、このアンケートを見てみますと、満足しているかどうかというのも非常によく分からないから、例えばこの設問の、こっちの設問の26番、ありますよね。避難所への大型消火器だとか、あと防災物資の整備に取り組んでいますか、状況に満足していますかって。

○花田 区長

カラーの資料の10ページ。

○石中 委員

そうですね、すいません。カラーのやつ10ページですね。例えばこれを見ても、多分これは無作為に抽出して確かやっているというのが前回のお話だったと思うんですけど、僕ら防災リーダーでも、そんなにしょっちゅうしょっちゅう、年に1回か2回物資の点検して整理しましょうとかやっているから、僕らは分かるんですけど、そうでない人がこれを見たって、これ、答えようがないんです。だからやっぱり半分ぐらいの方が分からないと出ているんですね。

それで、でも、これ、こっちの資料の18ページを見ると、なぜか実績として62.1%という数字が出てるんで、ちょっとこの数字もよく分からないなど。これ、1番と2番の「満足している」、「まあ満足している」で合わせて24%なので、この辺の聞き方もそうだし、統計の仕方もそうだから、少し変えた方がいいんじゃないですかね。例えば、こんな10個があって、リストとしてこういうことを付け加えましたよというのがあれば、じゃ、見た人が判断できるんですけど、これで判断しようというのは非常に分かりにくいですよ。

あとは、できるだけ数値的な部分だとか、ああいうものは上げた方がいいのかなというふうに思います。多分この資料4は、これ、少し変えてみたいなんですけど、18ページ、この資料で1枚ピラですね。これで、業績目標を、防災訓練とかに参加した、3年間に1回以上参加した人、今回、このアンケートでは13%ぐらいだったんですけど、これ、目標は30%にしているのが、これが各家庭において防災対策をとっている区民の割合。僕はよく分からないんですけど、この辺の、なぜそういうふうにした方がいいかなと思ったのか、ちょっとご説明があればいいのかなというのがありますし、あと、極力数値的な割合を入れた方が、全体的に防災だけに関わらず、どうしても満足しているか、していないかというのが多いんですよ、これ見たら。ちょっとその辺は、満足しているのは聞いちゃ駄目だ

と僕は言っているわけではないんですが、もう少し数字的には、この表を見ると、数字として出やすいところは数字にしているんですが、数字として測りにくいところは、どうしてもこういうふうになってんのかなというのは、ある一定の理解はするんですが、もう少しそういうふうな、極力評価するときに評価できるような形でないと、取り組みと、その取り組みを評価する仕方がちょっと外れてるような気がして、その辺、少し、もう一度再考されたらどうなのかなというふうに思います。

#### ○弾 議長

ありがとうございます。いろんな意見が出て当然でございます。

この資料3の方にも、ちょっと私が防災につきましてちょっと述べさせていただいております。この防災というのは、それなりに専門知識がないと、なかなか判断できにくい。それで、どなたかが以前に、ここに消防さん、あるいは警察さんがおられないのが、ちょっとなかなか話題として、テーマとして突っ込んだ意見につながらないんじゃないかと、回答もできにくいんじゃないかというお話が以前あったような気がします。

そこで、私の提案ですけれども、こういう専門的なことは、どうしても時間がかかります。ですから、そういう方々で一つの会議を作ってくださいまして、その結果、経緯をこの会で述べていただくようなスタイルにさせていただいたら、何かもう一つ進んだような形にできるんじゃないかなというふうに思っております。せっかく防災が1階に窓口になったんで、防災だけ、役所だけのことで絶対ないわけですので、そうい見識深い方と、消防と警察とが一体になって、具体的なところまで話を進めていただいたら、より一層効果的な会になるんじゃないかなというふうに思っております。これはあくまでも提案でございます。

#### ○石中 委員

今の提案に関連する質問なんですが、よろしいでしょうか。

今、弾議長がお話ししたことに関わるんですが、冒頭、区長の方から、私が出していた意見に対して対応方針が、この資料に出ていますね。これは当日机上配布資料①ということですね。実をいうと、ここの中の真ん中ぐらいのところに書いてありますけど、市民の方が公設消火栓を用いることは想定してなく、バルブ圧力も高いし、バルブの開閉も大変やというふうに書いてあるんですけど、これは一番当初、僕がこれを言ったときに、横須賀の例で、そういうのはちゃんと、そういう特別な訓練とか、消防隊を作って、消防署の中でそういう訓練を受けてるんですよ。訓練を受けた人たちが実際に消火栓を使うような形になってるんです。

だから、もし例えばそこにその人がいれば、「いや、もともとそうなんですよ」と、当然私たちも、何も訓練も何もなしにぱぱっと行ってそこを使うなんて言ってなくて、そこは消防士さんとかに協力して、私たちもそこへ行って研修を受けるから、ちゃんとやりまし

ょうねと。実際にスタンドバルブというのがアマゾンなんかで6万円ぐらいで売ってるんですけど、ちゃんとそういう機械も実際売って、現実に使われてるんですよ。だから、本当に怖くて使えないんだったらそんなの売ってないし、実際にネットとかで見ても、実際そうやっているところもたくさん出てくるんで、そこはお互いに、どうやったらできるのかを考えましょうよということを、ここで話ができるんですよ。今いないということは、またこの意見を向こうへ持って行って、こんな話しているということをもた次のときに聞いてということになって、すごく時間がかかってしまうので、ぜひその辺は、ちょっと考えてみたらいかがでしょうか。

○弾 議長

非常にこういうふうに熱心に、非常に見識深い方、結構おられますので、そういう方のご意見を取り入れていただくような機会を別に設けていただいたら、この進行、部会がスムーズに動くように思います。ひとつその辺、ご検討願えたら助かります。

それでは、それ以外に何か、この議案につきましてご意見、提案ございますでしょうか。天野さん、どないでしょうかね。

○天野 委員

防災についてでも構わないでしょうか。

○弾 議長

はい、どうぞ。

○天野 委員

いつでしたか、旭グラウンドからの災害発生のマイクですか、放送がありましたね。何月か忘れたんですが。

○弾 議長

防災訓練でありました。

○天野 委員

そうですね。旭グラウンドから拡声器で全体的に、地域がそうだからでしょうかね。高殿南の方なんですけれども、そのときに、一応時間的なものはお聞きしてたから、何か音が流れてるというのは分かったんですけども、言葉がはっきり聴き取れなくて、何か女の方の声だったと思うんですけども、どうも、こちらが分かっているから聞こえてたんですけども、もし万が一何か、突然何かあって、それで放送したときに、ちょっとはっきり聞こえないのが……。

○弾 議長

あの地域では聞こえません。

○天野 委員

そうですね。ちょっと心配かな。

○弾 議長

難しいです。機械があれやということですか。

○天野 委員

そうです。何かすごく、こもったような感じの声に聞こえたのでね。

○弾 議長

私の地区も、小学校の屋上か何かにそういう拡声器が付いていて、放送があったような気がします。けども、おっしゃったように、はっきりとは聴き取れない部分が多々ありましたね。だから、「何か言うてはるな」という、そういうふうな……。こっちも切羽詰まってませんので、真剣に聴きに行こうかという気にもならんところはいかんのやけども、何か一つの方法、伝達としては一つの方法ですのでね。だから、決して間違いではないと思うんですけども、一層皆さんに伝わるような方法があれば一番いいんでしょうけどね。ということで、そういう意見も出ておりますので、ひとつお考えください。

それでは、どなたか。亀井委員、どうでしょうかね。

○亀井 委員

亀井です。防災に関してのことで、避難所関係についてなんですけど、対策本部とか、避難所での委員会の設置とか、いろんな訓練をするということで進んでるんですけど、私、古市校区で今市地区に住んでるんですけど、この地区というのは、古市小学校が避難所やいうことになってるんですけど、キャパの関係で、今市、それから森小路の一部は今市中学へ避難いうことに一応はなってるんです。

ところが、学校との話し合いがうまく進んでないというか、いまだにそちらの方のどこに備蓄物資を置くとか、そういう具体的な話というのがちっとも進まないままで、今年の秋、この秋も、避難所の委員会設置の訓練とか何とか、今、古市小学校の方でやるいうことになって、われわれも参加するわけですけど、今のままですと、本当に事が起きた場合、どうしたらいいんやという状態のままになってるので、ここはちょっと役所の方で、学校側との話し合いがもっとスムーズに進むような、そういうあつせんというか仲介というか、そういうあれをしていただけたら、その部分をもっと進むんじゃないかと思うんですけど

も、だいぶ古市小学校と今市中学の間では温度差があるというのが古市連合の担当の人の感覚、感じいんですか、そういうふう聞いてますので、そういうとこをきっちりしていただきたいなと思うんですけれども。

○花田 区長

この中で、ちょっと現状を言える？

○山本 防災安全担当課長

防災安全担当の山本と申します。貴重なご意見ありがとうございます。

今現在、1校区から複数の避難所がある場所につきまして、どの順番で開設していったらいいのかどうかも含めて、今現在、地元の方のご意見を聞いたり致しまして検討中でございます。まずその順番で、一斉に同時に開けるのか、小学校から順次開設していくのかも含めまして、今、ちょっとわれわれ、検討している最中でございます。

今お聞きしたように、ちょっと学校側ともまたわれわれも、その順番とか開設の件につきましては学校とも交渉していきたいなと思っておりますので、もうしばらくお時間を頂けたらなと思います。

以上です。

○弾 議長

ありがとうございます。

○亀井 委員

亀井です。今の、もうしばらく時間を頂きたいという回答ですけども、この話、出てもう何年も経過しているんですね。今市中学を避難場所とするというふうに決められたというふうになってから、ずっとそのままで、決定しないまま今日に至って、幸いそういう大きな震災が起きなかったからいいですけども、やっぱりこういうことを言うのは、近いうちにとか言うているうちにどんどん、どんどん時間が過ぎていきますのでね。少なくとも一つのめどですね。これぐらいまでには必ずそれが決定できるように進めるというふうな約束していただかないと、今のままですと、ずっとまたこのままで、震災、いつ来るかわからないというのは、もういつも言われていることですからね。それはちょっと今の、もうしばらくいうのでは、ちょっと住民としては不安なままいうことになりますので、そこを何とかもうちょっと具体的な回答を頂けませんか。

○弾 議長

区長。

○花田 区長

実は今、誰かが申し上げたかもしれませんが、区の防災計画の見直しというものをやっております。その中で、もちろん避難所の関係とかも調整をしております、ちょうど今、個別の避難所の話というのは地域地域で詰めていっているんですけども、区民の方に、その文章ベースで見ていただくという作業を8月の半ばから9月の半ばの1カ月間での、パブリックコメントというのをかける予定にしております。並行して、今おっしゃっているような変えないといけないところというのが、地域の方が1つの地域で3カ所とか避難場所を、全17でしたっけね。

○山本 防災安全担当課長

19カ所。

○花田 区長

19ですね。中で3つぐらい持っているところがあって、地域の方も一気にそこに別々に来られたら手回れへんというふうな意見が防災会議の方であったりとかしますので、そういうところの整理を並行して進めています。いつまでという点でいきますと、年内にはしっかりと新しい計画にまとめ上げていく予定にしておりますので、今、地域の中でやっばりまずどういう受け入れ体制ができる、委員会、ありますね、避難所の。そういう体制ができるかっていうのは、それは本当に、それこそさっきの担い手のお話もありまして、3年前、5年前とはだいぶ状況も変わってきていると思います。なので、ちょっとまず地域の中で一定の方向性を出していただいた上で、オール9万人を抱える区として、じゃ、それでそのまま、地域で言ってるままでいいのかどうかという判断を今していくという段取りを進めているところです。だから、遅くても12月中には全部決め切っていきたいというのが本年度の目標でございます。

○弾 議長

はい。よろしゅうございますか。本年度中には出てくると。

○亀井 委員

年内。

○弾 議長

年内。12月。

○花田 区長

今のところ年内を目標にね。

○弾 議長

頑張っていたくださいませ。

○花田 区長

予定して。

○弾 議長

はい。では山本課長、よろしくお願い致します。

それでは、ちょっと時間の方も迫ってまいりました。次の議案に移りたいと思いますけれども、2番目の議案、平成31年度の旭区運営方針の指標の見直しについて、山本課長より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

○山本 防災安全担当課長

それでは、平成31年度業績目標を変更した理由でございます。

まず、区民の方の防災意識を測る指標と致しまして、訓練に参加した割合というのをいったん設定を致しましたが、地域の訓練、防災講座などは、主に災害時に避難所等を開設する地域の役員の方が中心となり参加されて行っておられるという経過もございまして、いったんわれわれとしましては、指標としては、これにふさわしくないのではないかというふうに判断致しました。よって、広く区民の方の防災意識の向上を測る指標と致しましては、各家庭での……

○花田 区長

すみません。資料4でいいですか。

○山本 防災安全担当課長

資料4ですね。申し訳ございません。資料4でございます。

それで、広く区民の方の防災意識の向上を測る指標と致しまして、各家庭での防災対策、具体的には食料の備蓄であるとか、非常持ち出しバッグ、家具の倒壊防止施策とか、そういうことをされているという割合に変更致しました。

また、60%の基準と致しましては、他の政令都市などのアンケートの結果を見ておりますと、大体60%前後で市民の方が対応されているということのをわれわれ把握致しましたので、一応その数値を目標とわれわれもさせていただいた経過でございます。

以上でございます。よろしくお願い致します。

○弾 議長

はい。見直しについての説明でございます。17 ページ、18 ページに関する見直しということではよろしゅうございますか。

それでは、それにつきまして何かご意見ありましたらお受け致しますけども。

石中委員。

○石中 委員

はい、石中です。今のお話の中で、具体的取組の①のところの指標を変更したという理由は分かったんですが、それで実際にアンケートを取るとき、またこういう形で防災対策をとっていますかとか、防災対策、いろいろありますよね。食料を備蓄するのもそうですし、例えばたんすとか、倒れないように下にこう差すやつがあるんですけど、そういうのを差したりだとか、例えばみんなでこういったときはここに行きましょうよと話し合っているかどうかとか、そういうのは幾つかあると思うんですが、具体的にこういうことをしていますかというの聞くようなことを考えてはるんでしょうか。ただ「やっていますか」、「やってませんか」だけだと、よく分からないなと思うんですね。

○山本 防災安全担当課長

ありがとうございます。今、石中委員おっしゃっていたように、具体的に項目は考えております。今、私、申し上げましたように、家具の倒壊防止であるとか、食料であるとか、非常持ち出しバッグですね。それと避難場所、事前にご自身確認されてますかとか、そういうような、項目を今考えておる最中でございます。ありがとうございます。

○弾 委員

はい。いろいろ考えていただいているということでございますが、他、どうでしょうかね。蒲さん。

○蒲 委員

はい。蒲です。今言われました防災力のところで、地域防災力の底上げっていうのがあると思うんですけども、これは過去、連合の問題かも分からないんですけども、私どもの大宮連合なんですけども、昨年から今年に入りまして避難所開設訓練ということで何回か訓練しまして、6月にやったんですけども、メンバーというものは地域防災リーダーですかね、中心にやるんですけども、顔触れって全然変わらないので高齢化してきておましてね。年々いろんな防災リーダーの研修もやっていますけれども、だんだん1年1年、年取ってきてる。若者が入ってきてるわけじゃないので、今のところ災害ないんですけども、このせつかく蓄えた知識が生かされるときには、われわれはもう高齢になってできないんじゃないかなと思って、そこら辺の新陳代謝というんですかね。若い人が入っていただいて、こうしてしていかないと、せつかく訓練したものが生かされないで、そのまま

た一からの出発になってしまうんじゃないかなというふうに考えて心配してるんです。

それは各連合のまた中で、地域防災リーダーの選出に当たっての問題点かも分からないんですけれどもね。やはりこの定着したり、ずっと何も出てこれないけども名前載っているような方は、ちょっとやはりきちんとしてくださいというふうに役所から言っていたとかね。訓練に出る方、決まってくると思うので、やはりそういうふうな名前だけ載っている人とかっていうのは、やはり地域、各連合できちっともうちょっと管理するようにとかいうふうにしていかないと、実際に機能しないというふうに思います。

それともう一つ、避難行動要支援者ですね。まさにこれ、前にも聞いたと思うんですけども、いったん何か名簿を作るようなことを聞いてましたけれども、それはまた指示が何もないというふうに思うんですけれども、いかがなものでしょうか。

#### ○山本 防災安全担当課長

今ご指摘がございました要支援者の名簿でございますが、私が今担当になるずっと前に、業務委託で確か町会の方をお願いをして作成をしまして、何遍か更新をさせていた経過がございまして、申し訳ないんですけども、ちょっと途中で終わってしまった形になってしまっています。

今、この名簿の件に関しましては、ちょっと今年中に整理したいなというふうに考えておりました、この名簿をどうするかということは今、防災担当としては考えております。防災リーダーさんとか、各地域の方のご意見をお聞きしまして、どういった形が一番かということは今現在も検討させていただいている最中でございます。

以上です。

#### ○弾 議長

ありがとうございます。

#### ○花田 区長

すみません。担い手の高齢化っていうのは、防災だけではなくって、いろいろな面でやっぱり出てきておりました、新しい担い手となるような方を、いかにそれを意欲的に探して引き込んでいくかというところというのは、これは旭区だけではなくって、実は全24区の課題であります。もしそういう中で、例えば区役所として、もしくはオール市役所として、こういうような制度だったり、こういうようなサポートがあったら、もっと地域として動きやすいんやけどとか、例えばこことつないでほしいとか、何かそういったご要望があれば、できる、できないにかかわらず、ちょっと一度アイデアを頂いて、とにかく汗かいて動いてみたいというふうに思っておりますので、この場で少しでも、それぞれ思っていられることがあればご意見を頂戴できたらありがたいんですが、議長、お願い致します。

○弾 議長

はい、川井委員。

○川井 委員

ちょっと、どちらさんか、誰の委員が言われたんか分かりませんが、今、区長がおっしゃったように、どこの地域も皆高齢化といいますか、若い方の担い手がないというようなことで困っているわけなんですけども、私、思うんですけども、例えば防災の防災リーダーなんかには中学生を全員皆参加させるようなことをやったらどうかなと思うんです。授業はちょっとした、何日か駄目になるかも分かりませんが、それよりも、この防災の方の必ずリーダーになって動かんといかんというようなことを義務付けるようにしたらいいんじゃないかなというふうに思っています。

○弾 議長

ありがとうございます。

疋田委員、何かご意見ございますか。

○疋田 委員

今の意見ね、小学校での高学年をうちではちょっと今、それも入れていこうというか、これから進めていきたいと思っています、全くそれは。

○弾 議長

ありがとうございます。

いずれにしても、防災につきましても、いろんな町の活性化につきましても、いわゆるコミュニティ、ベースになるのが町のコミュニティ、いわゆる人と人の人間関係が基本になるかと思います。非常に人間関係、希薄になっておる現実もあるんですけども、その中でより一層普段からそういうコミュニティを作っていただくために、皆、そういう若い方も含めた方との触れ合いをより多く作っていただけるように、地域の方々、これは役所の方はなかなかそこまでは、ここははっきり言ってちょっとしんどいと思います。役所の方はあくまでも接着剤になって、それをどう生かすかというふうに動かれるのが一番理想だと思います。

やはり地域のことでありますので、地域のことは地域が率先してやると。そのためには役所の人も協力してよというふうな形で、現にちょっと、私ごとで悪いですけども、商店街のことにつきましても、柴川さん、もう非常に汗かいていただいています。夜遅く、いろんな会議に嫌やけども出てきて、大変やと思うの。僕ら、8時からしかできないんですよ。それでも9時、10時、11時まで付き合っていて、いろんな意見を述べていただくこと

があります。ですから、大変ですけども、区役所の方、当然そういう働きがあつて僕はしかるべきだと思いますので、そういう会議があつたら、夜出ていただいて接着剤になっていただいて、いい方向に進むように考えていただければ、もっと基本中の基本、コミュニティというのは続けていくように思います。簡単ではないですけども、そういうふうに思っております。勝手なことを申しまして申し訳ございません。

それでは、ちょっと意見の方も出尽くしたと思います。まだあるかもしれませんが、次の議案に移りたいと思いますけど、よろしゅうございますか。

それでは、3番目でございます。区政会議に関するアンケートについての説明を事務局の方から承りたいと思いますけども、よろしゅうございますか。

#### ○松原 企画調整担当課長

失礼します。企画調整担当課長、松原です。

資料5、令和元年7月29日、旭区区政会議委員各位（活力・安全部会）という資料をご覧ください。封筒が挟んである分でございます。よろしいでしょうか。

旭区区政会議に関するアンケートについての依頼ということで、このアンケートにつきましては、確か12月やったか1月やったか、書いていただいたところでございますけれども、現在の区政会議委員の任期が今年9月末までということで、また12月、1月に、ちょっと新しい委員に1回来たところで聞くというのはいかがなものかということで、長くやっていた委員の方々に総括的なアンケートをお伺いしたいというふうなものが趣旨でございます。

提出期限が8月9日ということで、同封の封筒でご送付いただきたいんですが、書いていただきたいものが2種類あります。後ろの方につけておりますが、全体会議について記載してくださいというものと、活力・安全部会について記載してくださいと、この2種類でございます。内容についてはほぼ一緒なんですけど、全体会議について記載してくださいの1枚目のところですね。「2、区政会議のより活発な意見交換に向けて、現在どのような課題があると思いますか。以下の選択肢から思い当たるものに丸をつけてください」と、複数回答可のサ、実質的な議論が部会で行われておりというものが、この部会の方にはないという、この点だけでございます。内容については一緒でございます。

それで、回答を書いていただくに当たりまして、1枚目の依頼文書に添付しております別紙（参考）、旭区で取り組んでいる区政会議運営上の工夫事例というものがございます。できるだけ皆さまにご理解いただき、活発な意見をいただきたい、議論いただきたいということで、この間、さまざまな工夫をさせていただいております。例えば事前送付にしましては、会議1週間前に委員への送付であるとか、会議資料の方につきましては、平成30年度資料から、このパワーポイント形式にさせていただいたとか、会議の場以外での意見聴取につきましては、追加意見の募集ということで意見票をつけております。また、区政に知識や情報を得られる機会の確保としまして、学習会ということで、平成29年度は3

回ということでしたが、30年度につきましては18回、視察という形でしたけれども行わせていただきました。また、今度新しい区政会議の委員になられる方には、その説明というか、その機会も設けてはどうかという意見を頂いておりますので検討しております。

裏面にまいりまして、活発な意見交換を促すための工夫としまして、昨年につきましては第2回区政会議で委員の間の意見交換する場を設けたり、それから、議長、部会長から発言されていない委員への発言ということも促していただいておりますし、できるだけ時間を確保するという観点から、区役所からの説明の簡素化に努めておるところでございます。

また、全体会議および各部会の開催回数を平成29年度から増やしております。30年度から1回増やしております。

それから、専門的な議論を行う場の設定と、先ほどの意見、ちょっと違う意味でありましたけれども、旭区においては部会を設置し、部会にてそれぞれのテーマの進捗状況について担当から報告させていただいております。また、頂いた意見のフィードバックとしまして、意見に対する区の方針等、次の会議で報告するようにさせていただいております。できるだけこのような工夫をしているということをご説明差し上げた上で、すみません、全体会議および部会について、このアンケートについてご記入いただきまして、封筒を活用いただき、8月9日前にご返送いただきますようよろしくお願い致します。

以上でございます。

#### ○弾 議長

ありがとうございます。8月9日までに提出してくださいということですが、このアンケートにつきまして、ここはこうした方がいいんじゃないかと、このアンケートの趣旨、意味についてはどうだとか、そういうご意見もありましたら今承りますけれども、どなたか挙手……。

#### ○花田 区長

補足、よろしいですか。すみません。

補足で申しますと、実はこのアンケートの内容、このそれぞれの紙と、それから別紙、参考、各区で取り組んでいる区政会議運営上の工夫事例というところの四角囲み以外の部分、これについては24区共通で定められておりまして、ちょっと一言一句変えることはできないんです、今の時点では。ただ、ご意見として頂戴することができまして、区政会議のご意見として、今度区長会議というのがありますので、そちらに持ち帰って次回に反映するということができますので、そういうちょっと位置付けでご覧いただけたらというふうに思っております。

ただ、私どもが今加えた部分というのは、出し先の名前とか、出し元の名前とか、提出期限だったりとかは区で変えられるというところと、別紙のところの四角囲みに、この間、

旭区でやってきたことをちょっと書いているということぐらいでございますので、そういうことでよろしくお願ひ致します。

○弾 議長

ということは、この内容については、この内容で……。

○花田 区長

お願ひしたいということでございます。

○弾 議長

この内容でお願ひということですね。

○花田 区長

はい。ただ、次回以降に向けてご意見を頂ければ、しっかりそこは伝えてまいりたいと思います。

○弾 議長

ということです。

ちょっとまだ時間が今ので止まってしまうので、何かありましたら。

阪本さん、どんなものでしょうかね。何かご意見ございますか。

○阪本 委員

ございます。

○弾 議長

はい、どうぞ。

○阪本 委員

やはりこの機会、毎回ある意味で貴重だと心得ております。まず1つが、非常に想定外のことが起こるご時世なので、どうしたものかなということで、それはもうずっと心の中にあるんですね。

そういう意味では、1つは、私は、防犯協会を代表してまいっております。街頭キャンペーン等々、やるべきことは、特に生活安全課の方々とともにいろいろ、年間を通していろいろ施策を講じております。これが1つ。

それと、私の仕事柄、宅建業、不動産業なんですけれども、地域のことがありました。地域のコミュニティで、特に、工大生が、私、30年以上お世話させていただきまして、学

長をはじめ役職員の方と常に意見交換をしながら、もし何かあれば、危機管理という意味で、前の学長もそうですし、その辺り、地域に対して、建学精神が世のため、人のため、地域社会のため、専門的な学問を非常に議論する場、多いんですよ。私はOBではございませんけれども、一昨日も理事と意見交換しながら、想定問答をしながら、どう地域に貢献するのかと、もし工大生に何かあったら、警察署長にも「頼んませ」というような話はいつもするんですけれども、1つは、下宿生は大体地方から、大阪のお父さんと言われる、自ら正面に出ている私です。非常にどうだったということで、下宿生が大体2割おるんですよ。大宮キャンパスで約1万人、九千、実際には800人ぐらい、教職員入れましてね。非常にかわいいんです。質実剛健と言いながら、30年前と今の学生の気質は変わりました。

ちょっと余談かも分かりませんが、そういう意味では、地域に対して私は、「二十歳前後の方が歩くだけでもさわやかな風が吹きませ」ということで言うておまして、やはり千林商店街を含めましてコンビニ、あるいは外食の店舗でバイトする学生もおりますし、非常に行儀正しい、地域の評判が悪くはないということは耳にしておまして、時には叱責することもありますけれども……。

○弾 議長

阪本さん、ずれんように端的にお願い致します。

○阪本 委員

分かりました。すみません。要するに地域のコミュニティにどう溶け込むのか。非常に若い子とか、非常にワンルームに住んでおられる方が多いんで、その方、各地域の方にご迷惑掛けてないか、あるいは防災・防犯、その辺を含めましてどう貢献、あるいは地域とあまり密接に、どれぐらいの距離を置いているのかなというような、一つありますね。

それと、防犯のことをとりましたら、やっぱり学生の方が中心に、地域に対するそういう防犯意識も不断に啓蒙していく、啓発していくということはやっていきたいなと。

余談も含めてちょっと抽象的でしたね。その辺りは、また次の機会もございますんで、よろしくお願ひしたいと思います。

議長、申し訳ございませんでした。

○弾 議長

いえいえ。工大生を含めた、そういう防災計画も必要ではないかと、そういうご意見でよろしゅうございますか。

○阪本 委員

そうですね。やっぱり溶け込んでますんでね。800名ぐらいはいますんで。

○弾 議長

ありがとうございます。

それでは、何か他に。坂井さん。

○坂井 副議長

公募委員の坂井でございます。ありがとうございます。

先ほどから、今回が最後とおっしゃられていたんで、私も次の審議のときにはもう任期も終えていて、またこの席にはいないんで、多分今日が最後になるかと思うんですけども、いろんなご意見があるかと思うんですけども、区政会議が一番初めに始まったのって何年前でしたっけ。確か山本区長のときに……。

○花田 区長

6年、7年前ですか。

○坂井 副議長

はい。その初回のときからずっと携わらせていただいて、本当に会としては、私の中では、すごく言い方は失礼ですけども進歩したというか、最初は本当に何か、ちょっとこんな言い方をしたら失礼なんですけれども、ここで文句の言い合いの場みたいな感じで、ちょっとあまり建設的な場ではないなというのをすごく感じたんですけども、区役所の方がすごく努力、資料作りにしても、いろんなことで私たちのこの委員に分かるように、分かるように努力してくださっているというのがすごく感じましたし、年々、年々、ちゃんとした話し合いの場になってきて、いい形になってるなというのは、本当に実感しているところでございます。

こうやってずっと良くなってるから、また私、この場を離れて何年かしたときは、きつともっといい場になってるんだなというふうにはちょっと感じております。また、この中で残られる方もいらっしゃると思うんで、新しく入ってきた方と建設的ないい話し合いの場となることをお祈り申し上げます。

すみません。

○弾 議長

いやいや、ありがとうございます、まとめていただきまして。

まだちょっと時間がありますので、天野さん。この会の意見でも結構でございます。どうでございますか。

○天野 委員

あんまりなかなか出席することができなかつたんですけども、私、生涯学習の推進員

としてここに来させていただいてるんですが、今回で私の方も終わることになると思うんですけども、最初は何が何だか分からないような状態で、皆さんの話を聞くだけで、でもとても勉強にはなりましたし、本当に地域のことを考えていらっしゃるといのもつくづく、私みたいな者がこの場にいるのがとても恥ずかしくなるような思いで出席させてもらってたんで、また地元に戻ったときには雑談でも、近所の奥さん同士でも、こんな話があったとか、地域でこんなふうにしてはるよとか、自分のところの地域にないものをまた井戸端会議の中でも伝えていけられたらいいなと思いますので、ありがとうございました。

○弾 議長

ありがとうございます。

それでは、蒲さん、いかがでございますか。言い残すことが……。

○蒲 委員

本当に今おっしゃったとおり、私も、ぱっと女性部長からここに来まして、資料がそのときはものすごい多うございまして、どこを見るかと、そのめくるのに忙しかったような感じで、本当に皆さんのいろんな地域のお話を伺ったりして勉強させていただいたというふうなことで、やっと最近、本当にちょっと分かってきたなという感じで、非常に私もここに座るのが恥ずかしいくらいでしたけれども、先ほど何か工大生のことをおっしゃっていましたが、私も食育担当の方をやっておりまして、工大の食育のときに1年に1回行かせていただいているんですけども、非常に礼儀正しく、いろんなことに前向きに取り組んでいただいて、そういうふうな写真に撮って本部に送ったりしているんですけども、非常に楽しいイベントで、今後ともよろしく願いしたいなというふうに思っております。どうもありがとうございました。

○弾 議長

ありがとうございます。

引き続きまして、亀井委員、いかがでございますか。

○亀井 委員

私も4年になりますので、今日が最後。ちょっと思い出したんですけど、ここに出ている分で、もっと、あれだけ一生懸命やって、いろいろお宝であり、一押しまでこぎ着けて、旭区ブランドとかいうのを一生懸命作り上げてやったんやから、もっとPRして、もらった人ももっと名誉やと、良かったというふうに思われるようなとこまで高めていくいうんですか、そういうふうになれば、もっともっと、私もなったときは分からなかったんですけども、旭区にもこういうあれがあるのかいうのを、本当に目からうろこみたいな感じだっ

たんで、それはもっともっと自分たちのやっていることというのをみんなに知っていただけるようにして、旭区ブランド、それからお宝いうのを大切にしていこうというふうな、そういうあれをもっと力強く進めていただきたいなと思いますので。

○柴川 まち魅力担当課長  
頑張ります。

○亀井 委員  
はい。よろしくお願いします。

○弾 議長  
ありがとうございます。お褒めの言葉、ありがとうございます。  
それでは、川井委員、何か一言ございませんか。

○川井 委員  
いやいや、もう結構です。

○弾 議長  
もういいですか。そうですか。  
そうしたら、トリをとっていただいて、石中委員、どうぞでございますか。

○石中 委員  
石中です。先ほどいろんな防犯とか防災とかにも参加する年齢に偏りがあるというお話だったと思うんですが、こうすればいろんな年代の人が来るなんていうものはきつくないとは思ってますよ。例えば防災だったら、僕たちがたまに子どもたちの土曜授業で消防署の人たちが来ていろんなことをやってはるんですけど、それのお手伝いとかして、小学生のうちから防災だとかをいろいろと経験するというのが一つなんだろうなと。それ以外にも、例えばうちのところだったら新森まつりがあったりだとか、あと、旭区民まつりとかあるんで、やっぱりそういうところでもいろんな出し物があるんでね。

確かに以前、ここの防災担当の方にも提案したんですけど、水害が起きたときに、歩行訓練みたいなやつがセットがあるんですよ。要は、この辺に四角く溝を囲んで水を流して、大体くるぶしを超えても大体歩けなくなるんですけど、それを体験するようなやつとかもあるんですね。例えばそれとか、30センチぐらい水がたまると、もうドアを開けれないんですね。そういうのを体験するやつとかがあるんで、例えばそういういろんなものを出して行って、いろんなところで防災とか経験できるようにすれば、きっと防災に関してだけなんですけどね。いろんな方が参加していただけるのかなとか、そういうのはあるんで、

ぜひそういう意見を一緒に取り組んでいけたらなと思うんですが、ただ、私も今日で最後なので、あとはもう来れないので、先ほどの私のやつも、何か調整が必要であると、その後、僕のところに連絡があるのかなど。これだときっとないんだろうと思うので、これは山本さんに個人的に聞いて「この後、どうなりました」というふうに聞くしかないなとは思ってはいるんで、そういう意味でも、まだよろしくお願ひしたいと思います。

あとは、そうですね。全体的にやっぱり少しずつ会議のあり方として、僕たちが言ったことをどういうふう施策に反映するかとかいうのは、前期に比べたら、今期の方がより前向きなのか、ただ、全体に対しては、あなたがこう言ったからこう変わったんだよというのをちゃんと示した方が、きっと今日も、だって半分ぐらいの人が休んでいると思うんですけど、もちろんいろんな理由があると思うんですが、前の案件のときも、やっぱり文句を言うだけになってしまって何も反映されていない、来てもしょうがないじゃないかというふうに、そういう人がいるから参加人数も少ないんじゃないかとかいうことを言うてはった人もいらっしやったので、少なくともそういうふうに思っている人が少なからずいるんだったら、やっぱりもう少し出し方を工夫していけば、もっとこれからいろんな方が参加して、いろんな前向きな、私がこう言ってこういうふうに変ったよというのが実感できれば、ここに来る意義もまた出てくるんじゃないのかなと思いますので、そういう方向での今後の努力。もう一つ大事なことは、役所の方に全部しろと言っていることじゃないと思うんです。私たちが努力するので、役所の方も一緒に努力して、一緒に作っていきましょうというのが、僕はずっと前から言ってるつもりなんですね。基本的な態度なので、そういうところは今後も一緒にやっていただければありがたいなと思いますので、よろしく。

#### ○弾 議長

ありがとうございます。山本課長、石中さんにいろいろ相談していただいて。

ありがとうございます。それでは、皆様のご意見を一通り伺いましたけども、何か他に。

#### ○阪本 委員

質問で、素朴な質問で、本年2月22日、花田区長が申されたように、要は消防署、あるいは、それから旭警察署、もちろん旭区役所、連携協定をとって、山本課長が非常に重要なポストで、その辺り、具体的に今日の話の中でありまして、あした私が消防署長とも会う予定にはなっております。当然旭警察の署長さんとも会うわけですけども、具体的に何か市民を啓発するような、そういう、消防署さんは3つの団体ではありますよね。それから、警察は警察で防犯協会等々もありますし、そういう中で一歩二歩進めるような、区民も巻き込むというか、参加していただける、そういう啓発するような、そういう話し合いというか、予定はあるんでしょうか。共催という形でですね。

○花田 区長

そういう会議体を持つというようなことは実は想定をしていなくて、個別には、例えば警察署から、もしくは私どもの方から新たな取り組みとか、交通安全の取り組みとか防犯の取り組みとかを提案をして、じゃ、一緒にやっていきましょうか、あと、火の用心の取り組みなんかやったら、じゃ、新たにどんなふうな取り組みができますかねとかというふうな、そういうことについては今、まさしく山本のところで所管が明確になりましたので、させていただいているところです。

具体的に、例えばこの間、あれ、何月だったかな。交通安全の千林商店街さんに出していただいて、子どもさんが制服を着てやるようなこととかというのは、新たな取り組みとして協力してやったりとか、あと、あったかバスの中の、あれは詐欺やった？

○山本 防災安全担当課長

そうです、車内の。

○花田 区長

車内アナウンスの部分とか、あと、中学生が描いたポスターがあるんですね。防犯の「だまされちゃ駄目よ」みたいな、そういうふうなこととかはご一緒に取り組んで、あったかバスは基本的にお年寄りの方、たくさんご利用なさるので、その中にポスターを掲示して啓発をするとかというようなことは、この2月のそういう取り組みがあって、新たに実現してきているということは事実としてあります。ただ、定期的に三者の会議を持ってみたいなことは想定はしておりませんでした、どうやら、要るかな。

○山本 防災安全担当課長

やっています。

○花田 区長

実務的にはやってる。今言っているのは、所長同士とかで集まってっていうのはやっていないんですけど、それは昔からやってる。

○山本 防災安全担当課長

ですけども、今回の協定以後、消防と——すみません。今まで、われわれ区役所の防犯担当職員と旭署の生活安全担当の方だけで定例会議というか、毎月打ち合わせしてたんですけども、協定を結ばせていただいてから、旭署の方、生活安全の方と交通の方もお越しいただいています。それと消防局からもお越しいただいて、トータルでそういう話をさせていただいています。

その中で新しく、旭区抑止隊の委嘱式に区長も出席させていただきましたし、8月8日には、今開催されているサポカーのイベント、こういうのも新しくわれわれと一緒にさせていただいて、ちょっとずつではありますけども、協力してやっていっている形になっております。

すみません。またいろいろご意見等ございましたら、また頂戴できればありがたく思いますので、よろしくお願い致します。

○弾 議長

どうもありがとうございます。阪本委員、よろしゅうございますか。

○阪本 委員

ありがとうございます。

○弾 議長

はい。徐々にですけども、そういう場を持つておるということでございます。ぜひ、区長、所長クラスでなくても結構です。実務担当なさる課長、時間大変でしょうけども、ぜひ作っていただいて、そこにまた区政会議のメンバーなんかも入って、よりイベントどうのこのやなしに、もう一つ以前の、もっと具体的なことに踏み込んだ会になれば理想かなと思います。大変でしょうけど、ひとつそういう方向もしあれば、ひとつよろしくお願い致します。

それでは、意見も出尽くしたと思いますけども、事務局の方から何か。

○松原 企画調整担当課長

失礼します。企画調整担当、松原です。

先ほどから委員の口からも何回も出ていますけども、今年が区政会議の委員の改選の年ということで、2年に1回の改選の年に当たります。区政会議の委員につきましては、2期4年が最長ということでございまして、9月末時点で1期が終了、それから委員の引き継ぎで来られた方についても、その委員を引き継ぎますので1期の終了ということになりますので、1期を迎えられる委員の皆さまは、できるだけ引き続き委員を2期目していただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願い致します。

また、9月末で2期を迎えられると、2期終了される方につきましては、8月以降、各団体の方に推薦依頼というものを outs させていただきますので、引き継ぎ、もしくは推薦の方をよろしくお願い致します。

また、公募委員につきましても、8月、広報紙での周知を最初に募集してまいりますので、できるだけ推薦といえますか、声掛けといえますか、区政会議の紹介よろしくお願いたしたいと思います。

以上でございます。

○弾 議長

ありがとうございます。それでは、最後になりますが、区長、一言お願いできますか。

○花田 区長

そうしましたら、改めまして、この終わりになられる委員さんも含めまして、大変お忙しい中、お時間を取っていただき、また貴重なご意見を頂戴し、またいろいろとご議論いただいたことを心から感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

今日またいろいろと、来年度の事業に向けてのご意見等も頂きましたので、しっかりとそしゃくしてといたしますか、検討してまいりまして、どのように対応したかというのは、実はホームページの外部委員からのご意見ということで、この区政会議で頂いたご意見を、運営方針等の様式なんだったか、ちょっと後ろの方で様式があるんですけども、外部委員から頂いたご意見ということで、きちっと全て、この現場で頂いたこと、そしてこういう紙で頂いたものも含めて書いた上で、どういう取り扱いをしたかということについては毎年毎年公表させていただいているんです。ただ、先ほど石中委員がおっしゃったように、そういうところのアピールがしっかりできてないから、じゃ、自分の言った意見がどう反映されているか分からへん、行ってもしょうもないみたいなことになるということについての、やっぱりしっかりとしたアピールができてないことについては、先ほどのブランドの件もそうなんですけども、やっぱりまだまだ改善の余地があるなということを今日も改めて感じた次第でございます。

今日、アンケートをお願いするわけでございますけれども、そのアンケートには自由記載欄もございますので、どうか、例えば今後の運営についてのご意見でありますとか、例えば次の委員さんに期待するところでありますとか、例えば自分たちとしてこういうようなことが、例えば何か区役所のことの事業の説明なんかも、こういうこともこのぐらいのタイミングには聞いておきたかったわとか、そういうことがあれば、ぜひちょっと書いていただいて、次の新しい任期の委員さん、それからまた継続していただける委員さんについて、ちょっとでもよくなるように、またご意見も言いやすくなるように、そして、そういうことが反映できるような風通しのいい会議体としてぜひ回していきたいと思っておりますので、離れられましても、さっきおっしゃったように、引き続き担当課長とか、その関係というのは変わらないと思いますので、さまざまな形でご意見を頂戴できる、あるときは応援団、あるときは厳しい、何というんですか、厳しい目を見ていただくような見張り番というようなことで、引き続きご意見等を頂戴できればと思っております。

いずれに致しましても、本当に長い間ありがとうございました。今日もありがとうございました。

○弾 議長

ありがとうございます。

それでは、先ほども事務局から説明がありましたように、アンケート、8月9日までが提出期限でございます。併せて本日の追加意見等も書いていただきまして、事務局の方に出していただきましたら助かると思っています。

それでは、令和元年度の第1回区政会議（活力・安全部会）、終了致します。どうもありがとうございました。